

## 地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体 (市町村名)	夕張市
----------------	-----

## 1 地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生 プロジェクト名	「攻めの夕張」地域再生プロジェクト		実施 期間	平成 24 年度～平成 25 年度	事業 区分	新規・継続 2年計画のうち1年目
実施主体	市町村名：夕張市 民間団体名：					計 1 市町村 団体
格差の分野	社会構造の格差					
地域再生 プロジェクトの 目標	<p>（地域の現状・課題） 基幹産業であった炭鉱が閉山し、雇用の確保や住民の暮らしを守るため、観光事業をはじめとする地域振興対策を実施してきたが、人口減少・少子高齢化が進展している。市内企業に勤務する若者等が市内居住を望む場合、不動産事業者が存在せず、総合的な住環境情報が入手しにくいことから、これらの情報の一元化を進め、本市への移住・定住を望む方々のニーズに対応した体制を構築し、移住・定住の基礎となるまちづくりを進めていく必要がある。</p> <p>（プロジェクトの目標） 市内に散在する空き家や民間賃貸住宅等の物件情報を集約し、一元的に情報提供ができる体制を構築する。また、移住・定住の有力な受け皿となる分譲地などの市有物件の価値づくりを進めるとともに、市有財産の有効活用を図る。さらに、若い子育て世代等のための定住環境を整えることにより、人口減少の歯止めと地域活性化を図る。</p>					
取組の成果	目標の 達成度	設定目標（項目）	現状値 (平成23年)	支援期間終了後の成果目標 (平成25年)	左記の目標に対する現時点の 達成状況（平成24年）	
		人口減少率の減	年平均 3.2% (H17→H22)	年 3.0%	年 3.5%	
		中古住宅売買件数の増	年間で 30 件程度	年間で 40 件程度	年間 28 件	
		市内分譲地の分譲率の増	分譲率 50% (79 件/159 件)	分譲率 58% (93 件/159 件)	分譲率 51% (82 件/159 件)	
	具体的 な効果	市有財産有効活用は、環境を整備した旧学校施設に活用及び活用内定があり、分譲地の売却も行われ、効果が出ているものがある。				
計画の 達成度	移住定住促進に係る空き家等の物件調査を行い、作成したホームページで物件情報の発信を開始することができた。住宅建築用地である分譲地の環境整備やPR用のイラスト作成を行い、夏場のシーズンに向けた準備を整えることができた。					
住民等 の評価	空き家等の物件情報の提供を広報を利用して行っており、住民に浸透してきている。さらなる浸透を図るため、広報などを利用して周知していきたい。					
プロジェクト推進 上の課題・問題点	<p>（課題・問題点等）空き家等の物件調査では、処分の検討中という所有者も多く、情報発信する段階まで進めない物件も多いことから、この所有者のホームページによる情報発信の活用を促すためにも、情報提供の仕組みを着実に実施していく必要がある。</p> <p>（課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開）空き家等の利用希望者の多種多様なニーズに十分応えられるだけの物件が揃っていないので、情報提供の仕組みを着実に実施していくとともに、物件の募集・調査を行い、物件の充実を図りたい。</p>					

## 2 地域再生プロジェクトの構成事業

### (1) 実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
1	移住定住促進事業	移住定住先となる多種多様な物件情報を提供することにより、移住定住者の幅広いニーズに応え、本市への移住定住を活性化させる。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■HP作成、情報提供</li> <li>■幅広い物件提供</li> <li>■合併浄化槽設置費補助</li> </ul>	ホームページを4月から公開した。物件調査を行った11件の他、アパートや分譲地、市営住宅情報といった市内の不動産を一元的に発信している。	<b>(効果)</b> 事業を実施したばかりなので、具体的な効果はこれから。 <b>(課題)</b> 情報提供を着実に実施していくこと。物件の充実化を図ること。	広報などを利用し、浸透を図るとともに、物件の募集・調査を行っていく。
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■HP作成、情報提供</li> <li>■幅広い物件提供</li> <li>■合併浄化槽設置費補助</li> </ul>			
2	市有財産有効活用事業	移住定住のための資源となる分譲地や旧学校施設等の市有財産を有効に活用するため、活用が可能な環境を整備した上で、積極的にPRを行い、地域活性化を図る。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市有財産の有効活用環境整備</li> <li>■市有財産PR</li> </ul>	旧学校施設及び分譲地の環境整備を行った。分譲地PR用のイラストを作成した。	<b>(効果)</b> 利活用が決定・内定した旧学校施設がある。分譲地も売却実績あり。 <b>(課題)</b> 住宅建築用地である分譲地は、夏場のシーズンに向けて、利用が促進されるようPRを行う。	作成したイラストをポスター、ちらし、ホームページを活用して分譲地PRを図る。分譲地価格の見直しを行い、積極的なPRを行う。
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市有財産の有効活用環境整備</li> <li>■市有財産PR</li> <li>■利活用事業者との連携</li> </ul>			
3	子育て環境改善事業	子育て世代を応援することにより、若い世代が安心して暮らせる環境づくりを行う。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ひとり親家庭等医療費給付</li> <li>■乳幼児等医療費給付</li> </ul>	道の医療給付事業に沿って、事業を実施している。(本市は、財政再生団体のため、道から10割補助を受けている) ・ひとり親家庭等の医療給付対象者数(H24年度末) 199名 医療給付件数 827件 ・乳幼児等の医療給付対象者数(H24年度末) 246名 医療給付件数 2,606件	<b>(効果)</b> 事業の実施により、医療給付を行うことで、安心して暮らせる環境がつけられている。  <b>(課題)</b> 特段なし	平成24年度と同様に事業を実施し、子育て世代が安心して暮らせる環境作りを行う。

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
			平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ひとり親家庭等医療費給付</li> <li>■乳幼児等医療費給付</li> </ul>		(効果)  (課題)	

※「地域再生プロジェクト計画書」(別記第1号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること

## (2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 充当額 (充当要望額)	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	移住定住促進事業 市	H24 ～ H25	全体計画	10,033	2,710				7,323			3,679
			平成24年度	4,766	1,355				3,411			2,779
			平成25年度	5,267	1,355				3,912			900
2	市有財産有効活用事業 市、企業	H24 ～ H25	全体計画	172,075	78,835				74,040		19,200	5,721
			平成24年度	133,075	63,085				69,990			2,821
			平成25年度	39,000	15,750				4,050		19,200	2,900
3	子育て環境改善事業 市	H24 ～ H25	全体計画	14,849		14,849						0
			平成24年度	8,062		8,062						0
			平成25年度	6,787		6,787			0			0
4		H〇〇 ～ H〇〇	全体計画									
			平成〇〇年度									
			平成〇〇年度									
5		H〇〇 ～ H〇〇	全体計画									
			平成〇〇年度									
			平成〇〇年度									
計	事業数[ 3 ]	H24 ～ H25	全体計画	196,957	81,545	14,849			81,363		19,200	9,400
			平成24年度	145,903	64,440	8,062			73,401			5,600
			平成25年度	51,054	17,105	6,787			7,962		19,200	3,800

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」(別記第2号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること